# ナガエツルノゲイトウ発生時の防除方法

- 断片から拡散する恐れがあるため、刈払機の使用は避けましょう。
- 使用基準に従って除草剤を使用します。
- 抜き取ったら厚手のゴミ袋やポリ袋等で密閉し、散逸させない場所で枯らすか、焼却処分します※。
- 水田内への侵入防止のため、給水口に４㎜目合のネットを取り付けます。

※　特定外来生物に指定されているため、栽培・運搬等は禁じられていますが、小規模な防除の場合、防除目的の運搬は事前に防除の内容等を公表すれば可能（農業を営むに当たって行う防除の場合の公表は不要）。

## 早期・早植栽培における防除体系の例

| | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 水稲の生育 | | | 田植 | | 中干し | 出穂期 | 収穫期 | | | | | |
| ナガエツルノゲイトウの生育 | | | 萌芽・出芽 | ← 開花期 → | | | | 生育停止 | 地上部枯死 | 秋耕直後から土中萌芽開始（～3月） | | |

**本田防除（化学的防除）**

| 防除時期 | 初中期 | 中後期 | 収穫後防除 |
|---|---|---|---|
| 薬剤例 | ・ピラクロニル含有剤 | ・フロルピラウキシフェンベンジル含有剤 | ・グリホサート含有剤 |
| 目　的 | ・水稲用除草剤による化学的防除<br>・本田初期防除 | ・畦畔からの侵入抑制 | ・地下茎の肥大抑制<br>・地下茎へ除草成分を送り込む |
| 注意点 | ・深水処理 | ・収穫前日数 | ・稲刈後なるべく再生させる<br>・初霜の１～２週間前までに防除 |

**本田防除（耕種的防除）**

| 防除時期 | 防除時期① | 防除時期② | 防除時期③ |
|---|---|---|---|
| 対策例 | ・低速高回転で耕うん<br>・農機付着土壌の除去 | ・4㎜目合ネットで捕集<br>・農機付着土壌の除去 | ・荒起こし<br>・農機付着土壌の除去 |
| 目　的 | ・再生力低下 | ・侵入、持出対策 | ・低温乾燥で地下茎を枯死 |
| 注意点 | ・農機（土壌）で拡散 | ・用排水で拡散<br>・農機（土壌）で拡散 | ・土壌の表面積を大きくする<br>・農機（土壌）で拡散 |

**畦畔防除**

| 防除時期 | 防除時期① | 防除時期② | 防除時期③ |
|---|---|---|---|
| 薬剤例 | ・カソロン粒剤4.5 | ・グリホサート含有剤以外 | ・グリホサート含有剤 |
| 目　的 | ・土壌処理による長期残効 | ・地下部の生育量抑制<br>・再生株の養分を消耗させる | ・地下茎の肥大抑制<br>・地下茎へ除草成分を送り込む |
| 注意点 | ・雑草発生前～発生始期 | ・抵抗性雑草発現抑制 | ・降霜による枯死前に防除 |

## 使用可能な薬剤の例

（令和６年６月１日現在の登録情報）
・最新の登録情報は右から確認ください　農薬登録情報提供システム https://pesticide.maff.go.jp/
・農薬はラベルに記載の適用作物、使用時期、使用方法を十分確認の上、最終有効年月までに使用してください。

| 場所 | 時期 | 本草に有効な成分（一部を記載） | 左の成分を含む薬剤名 | 希釈倍数・使用量 | 使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 本田 | 初中期一発剤 | ピラクロニル ※2 | バッチリLX1キロ粒剤 | 1kg/10a | 1回 |
| | | ピラクロニル ※2 | アッパレZ400FG | 400g/10a | 1回 |
| | 中期剤 | フロルピラウキシフェンベンジル ※2 | ウィードコア1キロ粒剤 | 1kg/10a | 2回以内 |
| | 後期剤 | フロルピラウキシフェンベンジル ※2 | ロイヤント乳剤 | 200mL/10a | 2回以内 |
| | 収穫後（9～10月） | グリホサートカリウム塩 ※2 | ラウンドアップマックスロード※1 | 500～1000mL/10a | 1回 |
| 畦畔 | 3～4月 | DBN | カソロン粒剤4.5 | 6～12kg/10a | 1回 |
| | 田植以降 | フロルピラウキシフェンベンジル ※2 | ロイヤント乳剤 | 200mL/10a | 2回以内 |
| | | グルホシネートPナトリウム塩 | ザクサ液剤 | 500～1000mL/10a | 2回以内 |
| | | グリホサートカリウム塩 ※2 | ラウンドアップマックスロード※1 | 200～1000mL/10a | 3回以内 |

※1　畦畔のラウンドアップマックスロードは3回のうち、水稲生育中は1回とし、9～10月の本田の収穫後防除に1回残しておく。
※2　成分が同じ薬剤は使用回数に注意する。

**❣注意❣　河川敷や水路など水系に流出する恐れがある場所では、薬剤は使用できません！**

【お問合せ先】
発生、防除については、下記または最寄りの農林振興センターに御連絡ください。
〇埼玉県農産物安全課　048-830-4053　　〇埼玉県病害虫防除所　048-539-0661

令和６年６月作成